

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市高津スポーツセンター	評価対象年度	平成22年度
事業者名	SELF高津スポーツセンター事業体 代表: ㈱カワサキスポーツサービス 代表取締役 河崎 進 住所: 川崎市高津区宇奈根607番地 <構成団体> 株式会社 カワサキスポーツサービス NPO法人高津総合型スポーツクラブ SELF	評価者	地域振興課長
指定期間	平成18年4月1日～平成23年3月31日	所管課	高津区役所区民協働推進部地域振興課

2. 事業実績

利用実績 (単位:人)	<table border="1"> <tr> <th>4月</th><th>5月</th><th>6月</th><th>7月</th><th>8月</th><th>9月</th><th>10月</th><th>11月</th><th>12月</th><th>1月</th><th>2月</th><th>3月</th><th>小計</th> </tr> <tr> <td>19,806</td><td>21,753</td><td>22,128</td><td>22,613</td><td>15,857</td><td>23,755</td><td>22,824</td><td>25,259</td><td>17,559</td><td>17,056</td><td>19,079</td><td>12,453</td><td>240,142</td> </tr> </table>													4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	19,806	21,753	22,128	22,613	15,857	23,755	22,824	25,259	17,559	17,056	19,079	12,453	240,142											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計																																						
19,806	21,753	22,128	22,613	15,857	23,755	22,824	25,259	17,559	17,056	19,079	12,453	240,142																																						
収支実績 (単位:千円)	<table border="1"> <tr> <th colspan="3">収入</th> <th colspan="3">支出</th> <th colspan="3">(単位)千円</th> </tr> <tr> <td>指定管理委託費</td><td>47,000</td> <td>管理運営費</td><td>69,848</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>利用料金収入</td><td>25,706</td> <td>事業費</td><td>26,865</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>事業収入他</td><td>29,627</td> <td>支出計</td><td>96,713</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>収入計</td><td>102,333</td> <td>収支差額</td><td>5,620</td> <td colspan="3"></td> </tr> </table>													収入			支出			(単位)千円			指定管理委託費	47,000	管理運営費	69,848				利用料金収入	25,706	事業費	26,865				事業収入他	29,627	支出計	96,713				収入計	102,333	収支差額	5,620			
収入			支出			(単位)千円																																												
指定管理委託費	47,000	管理運営費	69,848																																															
利用料金収入	25,706	事業費	26,865																																															
事業収入他	29,627	支出計	96,713																																															
収入計	102,333	収支差額	5,620																																															
サービス向上の取組	<p>これまで4年間の管理運営のノウハウの蓄積を活かし、第1期の指定管理期間の最終年度として、多様な市民のニーズや効率的かつ効果的な運営を図り、開館時間の延長、昼休みの有効な館の活用、休館日の一部開館、割引率と利便性を向上した回数券(6枚セット:5枚分の料金)の設定等、利用者の要望・必要性を配慮した運営を行っている。</p> <p>情報発信については、ホームページによる情報提供をはじめ、共有部分に情報コーナーを設置し、スポーツ関係・文化関係・学校・行政等に関する情報や地域の情報を掲示や広報紙やメディア等の協力を得るなどの幅広い媒体で情報発信を行っている。</p> <p>施設空き状況を広報し施設の有効活用を積極的に行い、保育ボランティアの登用による子育て期の保護者のスポーツ活動参加促進、人気種目の拡大、高齢者の介護予防や子どもの体力低下などの社会的課題の解決に向けた取組みを実施している。</p> <p>施設の利用環境の整備に努めているとともに、民間スポーツ関係団体や障がい者支援団体と提携し、スポーツ普及イベントや障がい者支援事業を実施している。また運動中のBGMとして有線放送の導入、観葉植物の設置、利用者の交流の場として談話室の開放など利用環境の向上を図っている。また、談話室外側のピロティや屋上ゲートボール場などの更なる有効活用の可能性がある部分については自主事業としての施設の改修の可能性も含め、調査・検討を行い、今後の事業展開を見据えた運営を積極的に行っている。</p> <p>個人開放事業・教室等事業プログラムについて、利用統計やアンケート、他施設の状況把握、地域ニーズの調査等を実施した上で事業計画を策定している。また、地域活動への展開など社会の実情や区の課題を把握した地域色のある事業展開を推進している。</p> <p>利用者の利便性の向上につながる事業として、清涼飲料水の販売や消耗品的なスポーツ用品の販売などに加え、独自の事業として、貸しロッカーやレンタルシューズなどを行なっている。</p> <p>3月11日の東日本大震災における帰宅困難者の対応にあたっては、積極的に区への協力を行い、迅速で適切な対応がかけられ、以後の電力需給への問題も考慮した節電対策を利用者の理解を得ながら実施した。</p>																																																	

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	基本方針	公の施設としての理念を尊重し、社会体育施設としての役割や目的を果しているか。	1	3	3
	事業成果	事業実施による成果の測定・検証が適切に行われているか。	1	3	3
	(評価の理由)	事業計画に基づいた施設の運営がなされている。基本方針の具現化のため、「市民サービスの向上指針」を策定し、市民サービスの向上に努めている。自己評価・今後の展開・改善案等の検証・検討を行うとともに、利用者からアンケート等により意見・要望の事業に反映に努めている。			
管理業務の実施状況	維持管理	施設利用提供に支障をきたすこと無いよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に行っているか。	1	4	4
	休館日・開館時間	安全で適正な管理運営を確立するとともに、利便性や利用サービスの向上に留意した施設提供を行っているか。	1	3	3
	利用料金	公平性・平等性及び受益者負担について留意し利用料金の設定を行うとともに、利用者の利便性や利用サービスの向上を図っているか。	1	3	3
	諸施設の活用と提供サービス	効果的な諸施設の活用及び提供サービスの向上を図っているか。	1	4	4
	個人情報保護や情報公開	個人情報の保護や情報の公開を適切に行っているか。	1	3	3
	利用促進	施設の利用促進に向けた取組みが成されているか。	1	3	3
	人員配置	円滑な施設運営に必要な人員配置(資質・ローテーション等)を行っているか。	1	3	3
	人材育成	各種研修等を行うなど、人員の資質の向上を図っているか。	1	3	3
	危機管理	利用者の安全の確保及び有事の際の適切・迅速な対応のための危機管理体制がとられているか。	1	4	4
(評価の理由)	事業計画に基づいた管理業務の実施がなされている。施設空き状況の積極的な情報発信や休憩時間を有効に活用し、多岐にわたる教室事業等で施設の有効活用を図っている。地域人材を登用し保育サービスを行い利用者の利便性の向上を図るなど、精力的な利用促進に努め、震災の影響による3月の施設利用制限にもかかわらず、前年度に比べ30,833人の利用者の増加という成果を出している。維持管理においては、大小体育室の全面床清掃によるウレタン加工を実施するとともに、照明を省エネ・長寿命化に交換するなど施設の積極的な維持管理に努めた。東日本大震災の帰宅困難者の対応にあたっては、市に全面的な協力体制をとり、適切で迅速な対応を行った。				

事業実施状況	施設利用提供業務	生涯スポーツ振興を図るための施設利用提供を行っているか。	1	3	3
	個人開放事業	生涯スポーツ振興を図るための個人開放事業が実施しているか。	1	3	3
	教室等事業	生涯スポーツ振興を図るためのスポーツ教室やイベント等事業を実施しているか。	1	4	4
	スポーツ情報提供及び相談業務	生涯スポーツ振興を図るための情報の提供及び相談業務等を行なっているか。	1	3	3
	指導者・ボランティアの育成	地域スポーツ指導者の育成やボランティア等の育成のための事業を実施しているか。	1	3	3
	自主事業に関する事項	利便性やサービスの向上のための自主事業等を実施しているか。	1	3	3
	広報活動	施設利用促進及び生涯スポーツ振興を図るための広報活動が成されているか。	1	3	3
(評価の理由) 事業計画に基づいた管理業務の実施がなされている。これまで5年間における運営の実績をふまえた多岐にわたるニーズにあった教室事業を開催している結果から、常に定員を超える応募があり、本年度3月の震災の影響にもかかわらず、前年度36,773人から約12%増加し、41,739人の参加があった。					
収支状況	安定性	収支計画に基づく安定した運営を行っているか	1	3	3
	効率性	サービスの維持・向上に留意した上で効果的・効率的な予算執行が図られているか。	1	3	3
	(評価の理由) 予算と決算の比較増減があるが、単年度内で調整し、適正に執行していると評価する。				

#### 4. 総合評価

評価点合計	64	評価ランク	C
-------	----	-------	---

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

地域密着の運営と様々なニーズに応える教室事業の展開という特色を活かしながら、公の施設としての理念を尊重し、社会体育施設としての役割を果たすよう努めている。地域のスポーツ振興を担う施設として、スポーツ活動の場を提供するとともに、プログラムを含めた参加機会の提供、地域スポーツ活動の支援や意識啓発、地域人材の育成等を積極的に行っており、評価できる。

5年間の指定管理の中で徐々に地域のニーズの把握に努め、空きスペースや開館時間の有効的な活用方法を模索したことで、利用者の大幅な増加につながった。

また、地域の実情をふまえた子育て世代へ向けた教室事業の展開、民間企業・市民団体との連携、地域における交流の場の創出などを通じて地域の新たなつながりにも寄与している。

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

これまでのノウハウを活かし、今後も幼児から高齢者まで市民誰もが地域で気軽にスポーツを楽しめるスポーツの拠点として、生涯スポーツを通じてのまちづくりを目指すとともに、市民の健康・体力の維持・増進やスポーツ活動の推進に努め、生涯スポーツの振興を図るよう努めること。

また、公平で平等な利用を確保しつつ、経済効果にも留意し、公共性と効率性との両立を目指すよう努め、サービス水準の向上と効率的な管理運営による経費節減に努めるとともに、施設の老朽化も考慮した中長期的視野も含め、施設の長寿命化・省エネ化などもふまえた管理を行うこと。

自己モニタリングやアンケート等による検証や教室終了後の活動支援等の検討などに留意し管理運営を行うとともに、より一層地域に密着した事業推進を行うこと。